

## 新型コロナウイルス感染症への対応に係る令和2年度補正予算について

現在、国の緊急経済対策を踏まえながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止策及び、中小企業・観光業等に対する支援などの県内経済の活性化策を検討しているところです。

しかしながら、感染拡大による患者の急増に伴い、入院調整が困難となっていることから、軽症者等の宿泊療養施設を確保する必要性が生じました。

そのため、4月20日から受入れを開始する成田ゲートウェイホテルを始め、今後の感染拡大にも対応できるよう宿泊施設2,000室の借上げに要する費用について補正予算を編成し、専決処分を行いました。

その他の取組については、今後、補正予算の編成を行ってまいります。

## 1 一般会計の補正予算規模

補正予算規模 32億17百万円（当初予算と合わせた補正後予算額1兆8,227億2百万円）

〔歳入内訳〕

・国庫支出金 32億17百万円（1,702億53百万円 → 1,734億70百万円）

## 2 補正予算の内容

○ 軽症者等のための宿泊施設確保事業【新規】（衛生指導課・薬務課） 3,217,000千円

急増する新型コロナウイルス感染症患者の病床を確保するため、軽症者等の療養先とする宿泊施設2,000室を借り上げるほか、現地で必要となるマスクや防護服などの衛生用資機材を配備します。